

HUPOA上映作品紹介

公開展示室内で放映中！

ハンガリーの作品

『ハンガリアン・
フォークテイルズ』



「靴をはきつぶす王女たち」

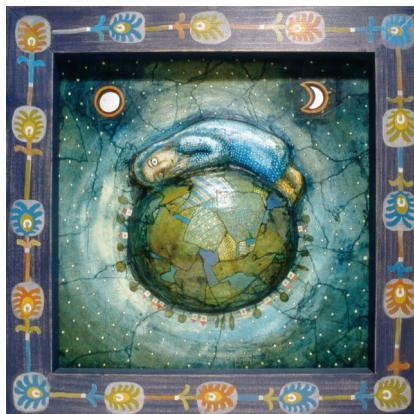


「双子の王子の冒険」



「貧者と利口な馬」

『スチールズ ～
追憶のスケッチ～
マリア・ホル
ヴァット作品集』



“Magyar Népmesék” Marcell Jankovics et al.

『ハンガリアン・フォークテイルズ』 マルツェル・ヤンコヴィチ他監督

ハンガリーの民話を題材とした、1978年から2011年現在まで続くテレビシリーズ。ケチケメート・フィルムスタジオの代表作で、マリア・ホルヴァット、ナジ・ラヨシュらが共同監督を務めている。

ハンガリーの民話は、冒険物語から笑い話までバラエティに富み、大人にも子どもにも親しまれている。本展示では「靴をはきつぶす王女たち」「双子の王子の冒険」「貧者と利口な馬」（各7分）を紹介する。なお、岩波文庫『ハンガリー民話集』（オルトウタイ編、徳永康元他編訳）で原作を読むことができる。

“Allokepek (Rajzok egy élet tájairól)” Maria Horvath

マリア・ホルヴァット監督

マリア・ホルヴァットは1952年にハンガリー西部のパーチェに生まれた。美術高校で彫金を学んだ後、1971年のケチケメート・スタジオの創立に参加する。テレビシリーズの監督を務めるかたわら、詩とアニメーションの融合を目指した短編アート・アニメーション作品を発表し、国際的にも高い評価を得る。ケチケメートアニメーションフェスティバル(KAFF)のためのオープニング映像も制作している。

本展示では彼女の作品集から「夜の奇跡」（1982年、8分）、「ドア」シリーズ4作品（1983-1987年）、「グリーンストリート66番地」（1992年、7分）を紹介する。

展示室内

『ムーン・フィルム
ム ドーラ・ケレ
ステシュ作品集』



ドーラ・ケレステシュ監督

1953年、ブダペスト生まれ。美術大学卒業後、ブックデザインや挿絵のイラストレーターとして活躍する一方、アニメーションの制作や舞台美術も手がける。鮮やかな色彩と力強い動きを駆使したアニメーションは、見る者を引き込む魅力に満ちている。

本展示では、「顔」(1996年、3分20秒)、「ナンダ、ナンダ」(3分)、「イチ、二、サン」(2005年、4分)を紹介する。

ハンガリー現代作家
短編



Herman Árpád, *Budoske*



Molnár Tünde, *Simon vagyok*



Bukta Zsolt, *A tor*



Glaser Katalin, *Fin*

現代ハンガリーで良質なアニメーション作家を輩出しているブダペストのモホリ=ナジ芸術工科大学(MOME)出身者の作品を一挙紹介。

Herman Árpád, *Budoske* (2007年、2分20秒)

Molnár Tünde, *Simon vagyok* (2009年、11分40秒)

Bukta Zsolt, *A tor* (2007年、1分30秒)

Glaser Katalin, *Fin* (2008年、9分30秒)

Huszár Dani, *Who do you love more?* (2005年、3分30秒)

Gacs Réka, *Yarn Good Light is Essential* (2007年、3分)

※ハンガリーの人名は姓・名、ポーランドの人名は名・姓の順で表記しています。

ポーランドの作品

『タンゴ』ズビグニエフ・リプチンスキ監督



“Tango” **Director:** Zbigniew Rybczyński
ズビグニエフ・リプチンスキ (1949-) はウッチ映画大学を卒業後、1973年にセマフォルから監督としてデビューし、技術を駆使したアニメーションで高い評価を受ける。1983年に本作『タンゴ』でアカデミー賞を受賞。活動拠点をアメリカに移し、有名ミュージシャンのプロモーションビデオ制作も手がけるなど、幅広く活躍している。(1980年、8分)

『ピーターと狼』スージー・テンプレルトン監督



“Piotruś i Wilk” (“Peter and the Wolf”) **Director:** Suzie Templeton
セマフォル (ポーランド) とブレイクスルーフィルムズ (イギリス) の共同制作作品。2008年にアカデミー賞 (短編アニメーション部門) 受賞。
スージー・テンプレルトン (1967-) はイギリスでアニメーションを学び、在学中から高い評価を受けていた。そんな彼女がロシア人作曲家セルゲイ・プロコフィエフの音楽作品「ピーターと狼」を1年8ヶ月の制作期間をかけ、セマフォルと共にアニメーション化した。狼との出会いを通じて、内気な少年ピーターが成長していく姿を描く。(2006年、30分)

研修セミナールームにてDVD上映！

5月24日 (火) 13時30分～ ハンガリー特集

『ハンガリアン・フォークテイルズ』、『ムーン・フィルム』、『スチールズ』に加え、MOME出身者作品集を一挙上映。

5月28日 (土) 13時30分～ ポーランド特集

『ファンタスティック・フラワーショップ』



“Fantastyczny sklep z kwiatami” (“The Fantastic Flowershop”) **Director:** Paweł Partyka
閉店後の花屋を舞台に、針金の人形たちが花びらのドレスをまとってダンスパーティーを開く様子を描く。色とりどりの花々と、人形たちの動きが美しい作品。(2001年、15分)

『帰還』



“Powrót” (“Return”) **Director:** Anna Błaszczuk
宇宙飛行士が長い時を経て「地球」に帰ってみると、物の形がすっかり変化していて…という物語。Anna Błaszczuk (1981-) はアニメーション制作のほか、雑誌や絵本のイラストレーターとしても活躍している。(2008年、8分)

上映会

『ラドストキ』マ
グダレナ・オシ
ンスカ監督



“Radostki” (“Joyets”) **Director:** Magdalena Osińska

マグダレナ・オシンスカ(1985-) のウッチ映画大学 (アニメーション専攻)卒業制作作品。子どもの頃の落書きをアニメーションにして動かしたら、というアイデアから生まれた。“Radostki”はポーランド語の“Radość” (喜び、うれしさ) をもじった造語。子どもの体験する世界が生き生きと描かれている。(2009年、11分)

『ダニー・ボー
イ』マレク・スク
ロベツキ監督



“Danny Boy” **Director:** Marek Skrobecki

首がない (“lose one’s head” = 分別を失った) 人間たちの中に取り残された主人公Danny Boyを通じ、現代社会の孤独を描いた作品。

マレク・スクロベツキ (1952-) は登場人物の心理を細やかに表現するパペットアニメーションで注目を集めている。彼が2005年に制作した“Ichthys” (『イクトゥス』) は数々の映画祭で高い評価を受け、イギリスの映画制作会社から『ピーターと狼』の共同制作を打診されるきっかけとなった。(2010年、10分)

『こぐまのウシャ
テク』(『おやす
み、クマちゃん
』)ルツィアン
・デンピンスキ
他監督



(C) Telewizja Polska S.A.

“Miś Uszatek”

〈セ・マ・フォル〉制作、1975～1987年 にかけて放送された、セマフォルを代表する人形アニメーション作品。垂れた片耳がトレードマークのこぐま、クマちゃんは「東欧版くまのプーさん」と称され、ポーランドで最も愛されているキャラクターのひとり。

各話は約7分で、クマちゃんが寝室で今日のできごとを話し、ベッドに入って眠りにつくまでを描く。キャラクターの愛らしさに加え、パジャマや部屋のインテリアが各話ごとに変わるなど、細部まで作り手の愛情が込められた作品となっている。

原作は、1957年に出版された同名の絵本

主要参考文献

- ・井上徹『ロシア・アニメ：アヴァンギャルドからノルシュテインまで』東洋書店、2005年
- ・久堀由衣『ポラニメ!：ポーランド・アニメ・スタジオ《セマフォル》の世界』東京外国語大学(ロシア・東欧課程ポーランド語専攻 卒業論文)、2010年(<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/sekiguchi/Prace%20dyplomowe/PracaYuiHisabori.pdf>、2011年5月10日現在)
- ・島野卓爾、岡村堯、田中俊郎編著『EU入門：誕生から、政治・法律・経済まで』有斐閣、2000年
- ・なほちかはるこ「なほちかはるこのホームページ：ハンガリーアニメーション」2011年2月26日発表 (http://napochka.com/anim_top_jp.html、2011年5月10日現在)
- ・沼野充義監修『中欧：ポーランド・チェコ スロヴァキア・ハンガリー』新潮社、1996年
- ・屋間行雄、権藤俊司、[フィルムアート社] 編集部編『ユーロ・アニメーション：光と影のディープ・ファンタジー』フィルムアート社、2002年
- ・渡邊昭子「ハンガリーのアニメーション制作の歴史」赤塚若樹編『ヨーロッパにおけるアニメーション文化の独自の発展形態についての調査と研究：アニメーション文化研究プロジェクト2005-2007』、2010年 (<http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/handle/123456789/20584>、2011年5月10日現在)